

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	山口 (呼吸器内科) 大久保 北村	福田 大久保 小林	新田 大久保 阿部	福田 山口 (呼吸器内科) 担当医 (循環器内科)	新田 小林	阿部 野中(診療開始9:30~) 小林(第1・4週) ※予約制 大久保(第2週) ※予約制 尾崎(第3週) ※予約制
	午後	新田 野中 (受付16:00まで)	山口 (呼吸器内科) 新田	福田 (消化器内科) 野中 (受付16:00まで)	小林 大久保	尾崎 新田(認知症) 野中 (受付16:00まで)	
外科	午前	石井	田中 (受付11:00まで)	石井	石井 (受付10:00まで)	石井 (受付10:30まで) 西山 (診察開始11:00から)	第1・3・5 田中 第2・4 石井 中山(山梨大学) (乳腺・甲状腺外科)
	午後	西山		西山 (一般外科・そけいヘルニア外来) 第2・4 田中	長沼	田中	
整形外科 (関節治療センター)	午前	真島 高山(定) 山本	片桐 真島 (診察開始9:30から)	高山(拓) 高山(定)	片桐 高山(定) 山本	時吉 (受付10:00まで) 片桐 (診察開始10:00から) 真島	※予約制 高山(拓) 帝京大学 ※1 時吉 (受付10:30まで) ※1 柏口 (野球肘外来) ※1 星加 (上肢スポーツ専門外来)
	午後	片桐 (下肢スポーツ疾患専門外来) ※予約制 (診察開始15:30から)	高山(拓) ※予約制 (診察開始15:00から)	高山(拓) ※予約制	真島 ※予約制	※予約制 高山(拓) 第1・3・5 真島 ※予約制 (診療開始14:30から)	
小児科	午前	磯貝	磯貝	磯貝		磯貝	磯貝
	午後	磯貝	磯貝	磯貝		磯貝	
	14:00 ~15:00	予防接種・乳幼児健診 ※予約制	予防接種・乳幼児健診 ※予約制	予防接種・乳幼児健診 ※予約制		予防接種・乳幼児健診 ※予約制	
眼科	午前	深澤 (受付11:30まで)	深澤	平井 (山梨大学)	深澤	深澤	深澤
	午後		検査・外来手術 ※予約制 深澤		検査・外来手術 ※予約制 深澤	検査・外来手術 ※予約制 深澤	
耳鼻科	午前	中澤 (診療開始9:30から) (受付11:30まで)		中澤 (診療開始9:30から) (受付11:30まで)	堀内 (山梨大学)	中澤 (診療開始9:30から) (受付11:30まで)	
	午後	補聴器外来 ※予約制 (不定期・月2回)					
脳外科	午前		三枝 (頭痛外来) (第4週目のみ受付12:00まで)			三枝	
	午後	三枝 ※予約制(認知症外来)		三枝			
皮膚科	午前		保延 (山梨大学)				
	午後					三井(山梨大学) (診療開始14:30から) (受付16:00まで)	
リハビリ 問診	午前	田中	阿部	浅香	新田	寺尾	大竹
	午後	田中	阿部	浅香	阿部	阿部	

・リハビリ問診はリハビリ室にて行います。

- 再来診察時は、原則予約診療を行っています。 ●整形外科・眼科の初診につきましては、原則、午前中に診療を行います。
- 診療科によっては、受付時間・診療時間が違う場合がございます。 ●外来診療は、急遽変更になる場合がございます。恐れ入りますが、院内掲示・ホームページをご覧になるか受付で確認して頂くようお願い致します。
- 整形外科の土曜日の時吉医師・柏口医師・星加医師・濱田医師の外来診療につきましては、事前に診療日のご案内をさせていただきます。
- 小児科・予防接種は完全予約制となります。御希望の方は、接種希望日の一週間前までに、小児科外来で予約をお願い致します。BCG・麻疹・風疹・三種混合・二種混合・日本脳炎・おたふくかぜ・水痘・インフルエンザ・子宮頸がんワクチンなど、乳幼児健診は完全予約制となります。御希望の方は、健診実施日の一週間前までに、小児科外来で予約をお願い致します。

編集後記

春暖の候、皆様ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。
春の到来で気温が暖かくなり、いつもより少し早くに桜も満開となりました。4月から診療報酬・介護報酬の同時改訂にて、医療・介護を取り巻く環境はますます厳しさを増していきます。これからも病院理念であります「地域に信頼される病院」を目指し、職員一丸となりより良い病院を目指して行きたいと思っております。今後とも御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。さて、連携だより「躍動」4月号発行となりました。今後とも宜しくお願い致します。

笛吹中央病院 地域医療連携係



「地域に信頼される病院」を目指します。

山梨県笛吹市石和町四日市場47-1
TEL 055-262-2185 FAX 055-262-5985

地域連携だより
躍動

RENKEIDAYORI YAKUDOU

2018年4月号



躍動 Contents

- ・新任医師のご紹介
- ・CT・MRIの共同利用のお知らせ
- ・地域包括ケア課・退院支援科の紹介
- ・外来担当医表



新任医師のご紹介

新田 清明 (ニッタ キョアキ) 先生

専門分野 神経内科



- 【認定医・専門医・所属学会】
日本神経学会 神経内科専門医
日本自律神経学会評議員
日本神経病理学会
日本神経感染症学会
日本リハビリテーション医学会
日本内科学会 内科認定医

本年から、笛吹中央病院の内科(神経内科)で勤務させて頂く事になりました新田 清明(にった きよあき)です。宜しくお願い申し上げます。

出身は、東京都西東京市で、山梨医科大学医学部医学科を卒業しました。山梨大学医学部第三内科→神経内科、長野県厚生連佐久総合病院内科、市立甲府病院神経内科、山梨県内のリハビリテーション病院、東京都内のクリニックで神経内科を中心に診療してまいりました。

超高齢化が進んでいる峡東地域では、神経変性疾患(パーキンソン病等、大脳基底核病、多系統萎縮症、アルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症…)、脱髄性疾患(多発性硬化症、視神経脊髄炎、…)等といった神経疾患に対する医療・福祉サービスが未だ未だ行き渡っておらず、quality of life (QOL)を下げてしまっているケースが少なからず有るようです。高次脳機能障害、運動異常、感覚異常、自律神経の不調等がありましたら、神経内科外来受診を御検討頂きたく存じます。

尚、多くの神経内科疾患は進行性で、神経内科専門医診療だけで医療が集結できる疾患では有りません。他科専門医の先生方、開業医の先生方、看護師、リハビリテーションスタッフ、社会福祉士、介護スタッフ、行政・司法関係者等の御協力が欠かせません。関係する皆様の御協力を得ながら、神経内科診療を通して多くの方々のQOLを向上に努めたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

CT/MRI装置の共同利用についてのご案内

当院では、より一層の地域医療への貢献を目指し、CT/MRI等各種の高度検査機器を共同利用させていただき、山梨県にて地域医療を担っている先生方の診断の一助にいただければ幸いです。検査による精査が必要な患者様がいらっしゃいましたら是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。

- ※当院では上記検査につきまして、検査のみのご利用を承ります。
- ※検査結果についてはご依頼を頂きました医療機関様へお返しいたします（遠隔読影に伴い、読影結果につきましては数日いただいております。）
- ※検査に必要な伝票につきましては担当者よりお届け、もしくはご郵送させていただきます。

（ご依頼の手順）

- ①検査予約をお電話にて笛吹中央病院 放射線科（内線150）までご連絡ください。
 平日（月から金）9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00 電話 055-262-2185(代表) 放射線科（内線150）
 ご連絡頂いた時点でご都合を確認のうえ検査予約日を決定いたします。
- ②検査依頼伝票の作成を行い、FAXし原本は当日患者様に持参いただきます。
- ③後日読影結果をお届けいたします。

※CT・MRI装置の新規ご利用をご検討の場合には、まずはご連絡下さい。担当より詳細について説明に伺わせて頂きます。

CT装置

CT マルチスライス
 SOMATOMEemotion16
 SIEMENS社

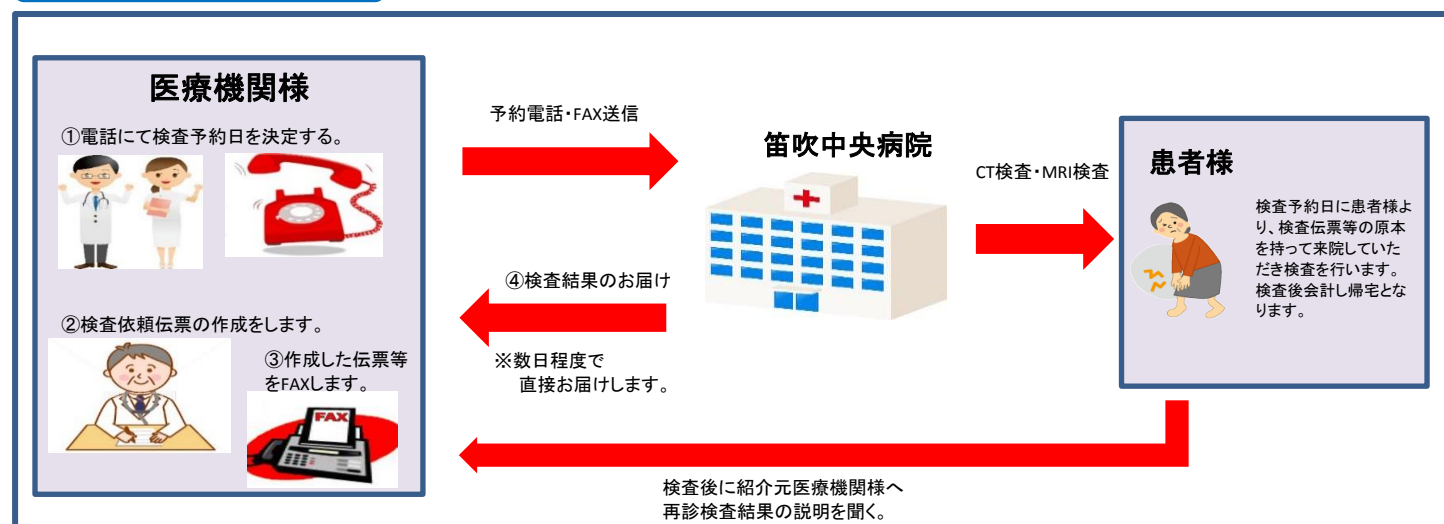


MRI装置

MRI 1.5T
 MAGNETOM Aera
 SIEMENS社



CT/MRI検査一連イメージ図



地域包括ケア課・退院支援室の紹介

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65歳以上の人は、国民の約4人に1人、2042年にはピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。厚生労働省では、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。当院では超高齢化社会にむけて、医療と介護の架け橋となるべく地域包括ケア課・退院支援室を設置しております。地域包括ケアシステムの医療の役割を担い、様々なニーズに順応に対応出来る様心がけていきます。

地域包括ケア課

地域包括ケア課は、地域医療連携係、医療福祉相談係の2つの係りがあります。主に地域医療連携係は、地域の医療福祉機関からの紹介の受入を行ない、医療福祉相談係は、入院患者さんの福祉相談や福祉施設・医療機関への退院支援を担当しています。その他在宅へ帰る患者さんについては、退院支援看護師が担当しています。患者さんが入院から退院まで安心して療養生活が送れ、また在宅でも安心して生活ができる様に、日々努力しています。地域の皆様より、信頼され、頼られるよう日々精進して行きたいと思っておりますので、これからもご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



退院支援科の紹介

（退院支援科の役割）
 2016年10月より退院支援看護師を専従で配置し、退院支援科を立ち上げました。その後、2名の病棟専任の退院支援看護師を配置し、現在は3名の退院支援看護師が活躍しています。役割としては、入院時から退院に向け早期に介入し退院後安心した生活が送れるように関わっています。介護サービスの調整やケアマネジャーとの連絡・情報共有、介護保険申請からの関わりを行っています。退院後の生活を見据えた関わりを早期から行うことで、患者・家族の安心に繋ぐことができます。退院後の日常生活動作の評価や食事のことを考えながら対応しております。

